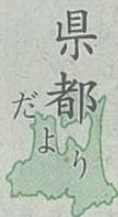


# 介護福祉士、保育士奨学金 支援に感謝、活躍誓う

## 学生と生保協県協会が懇談会



支援への感謝と社会人生活への意気込みを語る工藤美咲さん



生命保険協会青森県協会(梅野勝義会長)は14日、同協会の介護福祉士と保育士養成のための奨学金制度を利用した学生との懇談会を青森市で開き、卒業を祝った。学生たちは支援に対する感謝の気持ちを伝えた上で、社会人生活に向けた抱負を語った。

同制度は、人材育成を支援するため、介護福祉士は1989年度から、保育士は2017年度から実施。本年度は、介護福祉士で3人、保育士で4人が卒業予定で、卒業後はそれぞれ福

祉施設や幼稚園などに就職するという。

懇談会には、学生や同協会の関係者ら17人が参加。梅野会長は「学生の皆さんは今日まで努力を重ね、この日を迎えた」と学生たちの卒業を祝福し、学生たちは壇上で一人一人お礼のあいさつを述べた。

卒業後、十和田市で介護福祉士として働く予定という八戸学院短期大学部2年の工藤美咲さん(20)は、「奨学金のおかげで生活費や食費など助かった。社会に貢献できる介護福祉士になれるよう、スキルアップを目指す」と意気込んでいた。

(堰端桃子)